

## 2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 6 日

所属	政策情報学部	職名	教授	氏名	平原 隆史
研究課題	データサイエンスを利用した大学等非営利組織経営のモデル化				
研究キーワード	高等教育、公共経営、ファンディング、データサイエンス、AI	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	4. 質の高い教育をみんなに	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	11. 住み続けられるまちづくりを	10. 人や国の不平等をなくそう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>2020 年度より経済研究所プロジェクトも進行をはじめたが、コロナ禍によって文献調査だけが進展してきたが、その中で非営利組織の経営とその評価において、ファンディングなど定量的な評価が可能なモデルの研究があることが分かってきた。しかし、大学の経営など研究分野での研究調査は国際的にも数例見られるが、教育分野での評価はファンディングなどの講義がなされているかなど、限定的かつ定性的な評価手法しかない。そのため上位概念たる非営利組織の経営、公共問題の経営問題へのモデルの敷衍化が可能かなどの問題が存在し、一般モデル化の確立に本年度は努めてきた。</p> <p>そこで大学の寄付やファンディングのデータを収集しつつ、主として統計的データサイエンスの知見を利用しながら、モデル評価・シミュレーションを行い、大学経営における教育の効果を測定することを本年度の目標としたが、コロナ禍におけるインタビューやアンケート実施の困難に直面しているために、こうした定性データに頼らなくてもよい、定量データから評価の確立に関しては、一定の進展を得た。</p> <p>問題は、定量による分析の妥当性を検討するために、定性データでの検証や検定を行うことでモデルの信頼性を高めたいが、これがまだ困難なため、完成には至っていない。さらにこの部分を代替手法（混合分析法）で検討しているために、これを完成させることで学会発表や論文公表に繋げたい。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】 特になし</p> <p>【著書・論文（査読なし）】 特になし</p> <p>【学会発表等】 関連議論のために学会は参加しているが、発表はしていない。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>定量と定性分析を効果的に遂行するための数学・統計ソフトウェアと、その操作を習得するための書籍、また必要なデータを得るための文献。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等） 特になし</p>					
(本文は2ページ以内にまとめること)					